



## 外国出張報告書

平成 26 年 10 月 28 日

1. 出張国名        ラオス
  
2. 出張月         平成 26 年 9 月～10 月
  
3. 出張目的        雨季水田の土壌水分変動状況及び雨水の効率的集水・  
                         利用試験のデータ回収・分析及び収量調査のサンプリング区設置  
                         ため池総貯水量算出のためため池湛水深・面積の測定及び水文観測

#### 4. 成果の概要

ビエンチャン県ナムアン村とサワナケート県クッカー村において、雨季水田の地下水変動を観測した。ナムアン村では、低所圃場では 6 月中旬過ぎに田面水が生じ、

以降 9 月まで維持されたが、高所圃場では 7 月末まで表面水を生じず、その後も不安定な変動を示した。クッカー村では、例年以上の多雨により 6 月下旬に湛水が生じ、8 月の降雨中断時を除き、高水位が維持された。

また、ナムアン村の 2 水系の 46 圃場に、収量調査のためのサンプリング区を設置した。

ナムアン村における地域水資源量の把握を目的に、村の既存ため池の総貯水容量算出のための調査を実施した。調査はため池が満水になる、9・10 月に実施した。

対象ため池は、ナムアン村の Thor 川流域における 2 基、および Hoi 川流域における 4 基の合計 6 基である。調査は、ため池の堤体から末端までの一定間隔における横断面積を算出するための水深測定である。

得られた横断面積に各間隔幅を乗じ積算することでため池の総貯水容量を算出した。